

◇美術デザイン学科第一部 主要科目の特長

公表日 平成22年12月20日
 最新更新日 平成22年12月20日

科目	特長
現代美術論	<p>この講義では、一般的にわかりにくいとされる現代美術をとりあげ、授業を通して理解を深めてゆく。同時に、その時代、文化的背景も学び、美術様式との関連性を知る。芸術作品の意味、社会とのかかわりを学ぶことで、今後の芸術の展開などを予見し、作品制作に知識を生かしてゆくことを目標とする。</p>
住文化論	<p>世界の具体的な住まいとその社会の考え方。そして、住宅建築の歴史を通じて、過去・現在・未来の日本の住まい方の様々な空間やかたちの意味を理解する。実例を提示しながら、その内容に基づいた課題に取り組むことにより、現代の日本の住まいの現状を知り、建築・インテリアのこれからを考察することを目的とします。</p>
建築インテリア計画	<p>住宅建築を中心に、建築物やインテリアの計画に必要な人的要素や、物的要素に関する基本的な知識を修得する。</p>
建築インテリア法規	<p>建築、インテリアを設計するために必要な法的知識と考え方を修得する。</p>
ビジュアルデザイン概論	<p>現代社会における、ビジュアルデザインのあり方について考える。 ビジュアルデザインは、ある事について、目に見える形への視覚化とその視覚化された形がすべての人々に共通に理解される必要がある。いいかえれば、イメージの視覚的特性によるコミュニケーションを目的とするデザインであることを理解する。</p>
写真論	<p>毎日、私たちが触れる情報の中には、必ず写真や映像があふれています。現在の写真は、社会のさまざまな分野において情報伝達手段としての役割が、ますます重要な存在になっています。デジタルカメラが急速に普及する中で、3D映像など高度なテクノロジーによる、新しい表現での画像システムが展開される写真を、記録や伝達、あるいは芸術表現の手段であるだけでなく、社会との関わりと、その意味や機能など、写真のもつ表現方法を探る。</p>

◇美術デザイン学科第一部 主要科目の特長

科目	特長
マンガ論	<p>マンガの歴史や文化における意義を学ぶ マンガの表現方法の多様性を知り、種々のジャンルの創作にチャレンジする マンガ、アニメの鑑賞と評価 マンガ作成</p>
自由制作Ⅲ 担当者名：柳楽 節子	<p>この演習授業では、美術を広い視野で捉え、領域にとらわれることなく、より自由な表現活動を行うことをめざしている。学生が各々テーマを設定し、計画表の作成、材料の調査と購入、制作を行う。担当教員は必要に応じて助言を行うが、場合によっては教員と学生が共に新たな技法や素材の研究を行うこともある。</p>
自由制作Ⅲ 担当者名：岩見 健二	<ul style="list-style-type: none"> ・自由制作Ⅱの延長として、既成の枠にとらわれない斬新で独創的な表現が実現できるように、助言する。 ・作品発表の方法や考え方を実践的に指導する。
自由制作Ⅲ 担当者名：浜島 成嘉	<ul style="list-style-type: none"> ・課題にもとずいて、作品を制作するのではなく、日頃自分自身でイメージして、表現してみたいものを実験的に自由に表現する。 ルールに束縛されないで作品を制作することにより、自分の新しい表現の世界を発見するかもしれない。
洋画B	<p>鑑賞者に伝えるべき自らのテーマ・メッセージを深く掘り下げ、よりの確な表現方法及び材料を探りながら個性豊かに表現する。</p>
版画B	<p>作品制作を段階的に行うことによって、シルクスクリーンの基礎となる技術を確実に習得する。前年度に「版画A」を履修した受講学生は、作品内容及び技術をともに一歩進めた作品制作を試みる。</p>
日本画B	日本画の制作

◇美術デザイン学科第一部 主要科目の特長

科目	特長
イラストレーションB	イラストレーションにとって大切なことは、何でしょう。絵を描く技術はもちろんですが、それだけではなく依頼されたテーマを解釈し、絵でその答えを出す『発想』『考え方』が大切です。この演習では、イラストレーションの仕事とは？を原点に実際の仕事を意識した課題を設定します。身近な所に視点を置き『屋内編』『屋外編』に分けて商品を作成します。
インテリアデザインB	インテリアのデザインには、大別して住宅系のデザインと店舗系のデザインに分かれます。店舗系のデザインでは、そのデザイン性もさることながら、経済的な要素が加わります。店舗における商品の扱い方や販売方法に準じた空間デザインを行い、内容の理解を深める必要があります。
ビジュアルデザインB	ビジュアルデザインの表現方法の学習、及びプレゼンテーション能力の育成とポートフォリオの作成
建築デザインB	<ul style="list-style-type: none"> ・建築デザインAに引き続き、建築設計の技術を住宅、小規模公共施設の設計を通じて学ぶ。 ・授業は作品の制作を中心に進め、必要に応じて座学による講義を行う。
デジタルデザインIV(web)	Web作成ソフトと使い、基本的な概念とWebページデザインを目的にしたクラスです。利用するソフトはDreamweaver及びFlashを使います。
現代建築論	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目のねらいは、現代建築全般について理解することにより、建築の実践に必要な知識を習得することにある。ここで現代建築とは主として第二次世界大戦後に計画、建設された建築を指す。単に現代建築の物理的側面を取りあげるだけではなく、それらの建築と社会情勢との関わりについて注目する。 ・本授業では座学による講義形式で行う。
建築構造力学	<ul style="list-style-type: none"> ・建築構造の力学的な成り立ちや、構造計算を行うための知識を習得する。 ・授業は座学による講義と課題の演習によって行う。

◇美術デザイン学科第一部 主要科目の特長

科目	特長
建築インテリア施工	<ul style="list-style-type: none"> ・施工とは設計された建物を実際につくりあげていくことを意味している。本授業では、施工における各工事について理解し、基礎的な知識を身につけることを目的とする。授業内容は建築施工一般について取り扱うが、基本的に木造住宅の工程に沿って授業を行う。 ・授業は座学による講義を基本として進める。
映像論	<p>映像に映し出される対象、そしてそれを受け取る鑑賞者との関係を、現代社会に提示される課題を照らし合わせながら考えていくのがこの授業のねらいです。配布するテキストの講読と、その内容に関する説明とディスカッションを進めていきます。また、何本かの映像作品を鑑賞し、作品についてのディスカッションも行います。</p>
卒業制作・卒業研究 担当者名:柳楽 節子	<p>シルクスクリーンによる作品制作を通じて、作品のテーマの設定から完成までの過程を経験し、自身の作品と版表現の効果の結果を確認する。版の支持体は紙に限定せず、布、木、石等、作品によっては多様な素材による制作を試みることも可能である。意欲的な作品制作をめざす。</p>
卒業制作・卒業研究 担当者名 山下 彰一	<p>日本画の卒業制作</p>
卒業制作・卒業研究 担当者名:岩見 健二	<p>絵画実習(油彩)の集大成として自由課題で大作を制作する。</p>
卒業制作・卒業研究 担当者名:稲富 恭	<ul style="list-style-type: none"> ・二年間の総括として作品制作、または研究論文の執筆を行う。 ・作品、研究のテーマは原則として各自が決定する。ただし、必要に応じて教員がアドバイスをを行う場合がある。

◇美術デザイン学科第一部 主要科目の特長

科目	特長
卒業制作・卒業研究 担当者名: 浜島 成嘉、谷口 新	・ビジュアルデザインの分野に関する制作、及び研究
卒業制作・卒業研究 担当者名: 満田 知美	『ひらく・あきなう・ひらめく』をテーマに自作のグッズを制作します。同時に作品を売るための方法も学びます。雑貨屋さん、ポップ、カジュアル、モダン、アンティーク、ハンドメイド等お店ごとにスタイルが決まっています。モノが魅力的に見えるように並べ方を工夫したり、使い方を提案したり、季節毎に並べかえたりすることが大切です。作った人の手の温もりや、こめた思いをどれだけ感じとれるかも体験します。卒業制作展では、ディスプレイも含め自分らしい商いのスタイルで『SHOP,CAFÉ,お店屋さん』を開いて頂きます。
デジタルデザインⅢ(3D)	3Dソフト、Shadeを使い、基本的な3Dの概念を習得し、実際に3D作品を制作します。